

平成 2 8 年 度

地域政策科学研究科 (前期)

一 般 入 試

専 門 科 目

時 間 180 分  
(午前 9 : 30 ~ 12 : 30)

---

注 意 事 項

---

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、この表紙を除いて 2 枚です。  
印刷不鮮明の箇所などがあれば、監督者に申し出て下さい。
3. 解答は、別紙の解答用紙に横書きで記入して下さい。
4. この問題冊子とは別に、解答用紙が 1 枚配布されていますが、そのすべての用紙の指定欄に科目名と受験番号を必ず記入して下さい。
5. 試験終了の合図とともに、ただちに、筆記用具を机の上に置いて下さい。
6. 解答用紙は持ち帰らないで下さい。

平成 28 年度 (前期)

(一般入試)

考古学

問1 以下の設問の中から2問を選択して論述せよ。

- (1) 日本古墳時代の埴輪にかんする考古学的調査・研究の成果を、具体的な遺跡名・資料名をあげつつ説明せよ。
- (2) 東北における中世考古学の調査研究成果と問題点について具体的に述べよ。
- (3) 「前方後円墳体制論」の内容を説明し、そのうえで、考古学研究におけるその意義や問題点について述べよ。
- (4) 古墳発掘調査(墳丘および埋葬施設をともにふくむ)における実際の作業内容とその方法および目的を、調査開始から終了まで、調査の進行にしたがって漏れなく説明せよ。

問2 次の語を説明せよ。

- (1) 地藏田 B 遺跡 (秋田県)
- (2) パブリック・アーケオロジー
- (3) 武寧王陵
- (4) 鹿の子 C 遺跡 (茨城県)

問3 下の史料にかんする間に答えよ。

(1) 全体を読み下し文にせよ。

(2) この史料がもつ研究上の意義を詳しく述べよ。

(表)

至成等七月中記乎獲居丘上祖名意富比堵其兒多加利呈尼其兒名互  
巴加利獲居其兒名多加彼次獲居其兒名多沙鬼獲居其兒名半云比

(裏)

其兒名加美彼余其兒名乎獲居丘世。为村刀人首奉素未至今獲加多支齒大  
王寺在斯鬼宮時吾尤治天下令作此百練利刀記吾奉素根但也